

環境施策に係る令和7年度事業の実施状況及び令和8年度の方針

※1 R7事業の実績は令和8年2月16日時点

※2 R8方針は令和8年度当初予算として計上のもの

【R7年度事業の概要】	【R7年度事業の実績※1】	【R8年度方針及び特記事項※2】	
<p>環境政策全般</p>			
<p>6・ワクワク環境みらい都市宣言・環境市民行動「丹波篠山SDGs」(農村環境課)                      …ワクワク環境みらい都市の実現に向け、「環境市民行動『丹波篠山SDGs』」により具体的な行動が実践されることを目指して、市民が実践する環境にやさしい行動を紹介する冊子を作成。個人や家庭に留まらず、自治会や団体、事業所など、市内で広く「環境市民行動『丹波篠山SDGs』」を実践いただけるよう取り組み、普及に努める。</p>	<p>環境月間(6月)に市内小学校協力のもと、啓発用ポスターを市役所に掲示。令和5年度に発行した啓発冊子を関連イベントや希望者へ配布。</p>	<p>継続</p>	<p>環境みらい都市の実現に向けて、引き続き環境部門のSDGs推進を進める。</p>
<p>7・丹波篠山国際博(商工観光課)                      …「丹波篠山国際博 日本美しい農村、未来へ」を開催する。「食の聖地、農の都を未来へ」「文化芸術、創造農村を未来へ」「生物共生、自然環境を未来へ」「四季折々、美しい景観を未来へ」「市民の力、丹波篠山ブランドを世界へ」をテーマに、生物多様性や景観保全、農都の取組み、獣がい対策、日本農業遺産などの取組みについて、パネル展示や映像などを、市関連施設などで紹介するほか、体験ツアーの開催などで、市の誇る取組みを広く周知する。</p>	<p>「日本美しい農村、未来へ」をテーマに国際博を開催した。国際博を通じて、環境施策の発信に積極的に取り組み、パネル展示や映像制作、市関連施設での取組紹介、体験型里山ツアーの実施などを行った。その結果、生物多様性や景観保全、農都の取組みなど、本市が誇る環境施策を広く周知することができた。</p>	<p>完了</p>	<p>-</p>
<p>8・「日本美しい農村、未来へ」計画(市長公室)                      …農業、景観、伝統文化などを守り、集落を未来につなげるため、集落・地域づくりのあり方を示す「日本美しい農村、未来へ」計画を策定し、その構想を広く周知する。</p>	<p>令和7年度においては、「日本美しい農村、未来へ」計画策定にあたり市の誇る取組み、施策の取りまとめを行った。</p>	<p>継続</p>	<p>令和8年度は、令和7年度に実施した丹波篠山国際博の成果をまとめ、地域づくりやまちづくりの指針となる計画を策定する。</p>
<p>1-1) 協働プロジェクト創出のための場づくり</p>			
<p>9・協働プロジェクトの推進(農村環境課)                      …「協働ではじめる環境・まち・未来づくり事業」として、複雑化する環境課題の解決に向けて、多様な主体による「環境からまちを良くする」プロジェクトを補助金等により支援する。活動や人財のネットワーク化を進める協働の場づくりとして、報告会開催のほか「SDGsミーティングささやま」との連携や移行を検討する。</p>	<p>認定事業:1年目3件、3年目1件                      3月19日に活動報告、意見交換会を開催予定。</p>	<p>拡充</p>	<p>補助金継続により活動を支援。また、全体のコーディネーター役として実行チーム(部会)を結成し、横断的な支援体制の構築に取り組む。</p>

## 環境施策に係る令和7年度事業の実施状況及び令和8年度の方針

※1 R7事業の実績は令和8年2月16日時点

※2 R8方針は令和8年度当初予算として計上のもの

【R7年度事業の概要】	【R7年度事業の実績※1】	【R8年度方針及び特記事項※2】	
1-2) 環境課題解決に向けた取り組みの支援			
10 ・ 生物多様性促進活動補助金(農村環境課) … 市内で自然保護・再生活動や生きもの観察などの普及啓発活動を行う個人・団体に対して、必要な経費を補助金として交付し、支援する。	保全再生活動:10主体、休耕田ビオトープ:9主体16か所161.3アール、江:11主体30か所2,658.8メートル。	継続	R7年度と同様に実施。
11 ・ 保育園・こども園における木製園児用イスの導入(保育教育課) … 市内産木材を使用した木製園児用イスは、全幼稚園に導入が完了し、さらに木育を展開していくため保育園・こども園の3歳児クラスへの木製イスの導入を計画する。木の香りや温もりを感じることで園児の諸感覚の発達を促すとともに、市内産木材を使用することにより、愛郷心の育成及び市内林業の発展に資することができる。	保育園・こども園の3歳児クラスへの木製イスの導入を令和6年度から5ヵ年で計画。令和7年度はにしき保育園に導入。令和7年7月18日納品完了。	継続	令和6年度からは保育園・こども園の3歳児用イスを整備しており、令和8年度は市立たかしる保育園に導入。
12 ・ 学校給食による食育の推進(学校給食センター) … 地元産食材を積極的に活用し、丹波篠山の豊かな農産物や伝統的な食文化の継承など、学校給食を「生きた教材」として「食育」に取り組む。主食の米飯には、自然環境に配慮して栽培された「農都のめぐみ米」を年間を通じて提供する。また、有機栽培野菜は、できる限り取り入れる。	有機栽培野菜を含んだ地元野菜を積極的に取り入れ、「生きた食材」として給食に活用し提供した。また、主食の米飯には、自然環境に配慮して栽培された「農都のめぐみ米」を年間を通じて提供した。	継続	「農都のめぐみ米」は年間を通して提供。有機栽培野菜等地元野菜は、できる限り納入し使用するよう取り組む。
13 ・ 森のおさんぽ広場(子育て企画課) 市内の屋外公園を中心に、自然の中で、概ね2歳6ヵ月から就学前(就園していても参加可)までの子どもが、同年齢の子ども達と触れ合いながら社会性を育むことができる親子体験プログラムを提供する。令和7年度から、名称を従来の「森のようちえん」から変更し、ささやまの森公園で子どもたちにさまざまな体験を提供する。	親子体験プログラムを8回(5月・6月・7月・9月・10月・11月・12月・3月)実施し、89名の児童が参加(3月分除く)。	継続	R7年度と同様に実施。

## 環境施策に係る令和7年度事業の実施状況及び令和8年度の方針

※1 R7事業の実績は令和8年2月16日時点

※2 R8方針は令和8年度当初予算として計上したもの

【R7年度事業の概要】	【R7年度事業の実績※1】	【R8年度方針及び特記事項※2】	
14 ・ 新生児誕生祝品「丹波篠山 森からのおくりもの」(子育て企画課) … 乳幼児期から豊かな感性と自然への愛着を育むため、丹波篠山産材を使った積み木セット「丹波篠山 森からのおくりもの」を誕生祝品としてプレゼントする。	4か月健診の案内に引換券を同封し、4か月健診時に配布 <b>【配布数内訳】</b> 4月生まれ…対象9人/受取9人 5月生まれ…対象9人/受取8人 6月生まれ…対象17人/受取17人 7月生まれ…対象15人/受取14人 8月生まれ…対象27人/受取26人 9月生まれ…対象16人/受取15人 合計…対象93人/受取89人 受取率96% ※9月生まれまで4か月健診実施済。	継続	R8年度作成分より木の種類を20種類程度から5種類程度に絞り、焼き印加工は実施しない。
15 ・ SDGsの推進、啓発(創造都市課) … 市内企業が取り組むSDGsを周知するため、企業紹介ガイドブックにその企業が取り組むSDGsのゴールを掲載するなど、企業イメージアップにつながる支援に取り組む。SDGsの重要性を市民が共有し、日常生活の中でできる取り組みを推進する。	市内企業が取り組むSDGsを周知するため、企業紹介ガイドブックにその企業が取り組むSDGsのゴールを掲載し、市民に周知した。	継続	R7年度と同様に実施。
16 ・ 環境みらいパートナー事業者登録制度(農村環境課) … 「ワクワク環境みらい都市宣言」で目指すまちの実現や気候変動対策など、環境分野のSDGsの目標達成に向けて、市内事業者が取り組む制度。登録事業者への研修会や意見交換会の開催などにより、事業者間の連携を深め実践行動を促す。また、他の事業者の模範となる実践行動について、表彰を行う。	11月26日に12者(新規3者・継続9者)の表彰・事例発表、省エネルギーに関する研修会を開催した。登録事業者数66者。	継続	登録事業者同士の交流を図り、市域での取組が広がるように取り組む。
17 ・ 生物多様性ネットワーク(農村環境課) … 市内で生物多様性保全再生活動を行う実践者、団体が集まり、生物多様性ささや戦略を踏まえた活動の実践と普及に向けた交流・意見交換を行う。	ハス復活と外来種に関する会を8月に開催。これからの篠山城跡ハスの保全について意見交換を行った。	継続	R7年度と同様に実施。
18 ・ 生物多様性アドバイザー(農村環境課) … 生物多様性に関して専門的な知見を有する人材を生物多様性アドバイザーに選任し、現地調査や生物多様性施策に関する助言を受ける。	生物多様性促進活動補助金の審査、クビアカツヤカミキリに関する意見照会を行い、延べ12人から助言を受けた。	継続	R7年度と同様に実施。

## 環境施策に係る令和7年度事業の実施状況及び令和8年度の方針

※1 R7事業の実績は令和8年2月16日時点

※2 R8方針は令和8年度当初予算として計上したもの

【R7年度事業の概要】	【R7年度事業の実績※1】	【R8年度方針及び特記事項※2】	
2-1) 地域の特色を活かした環境教育・環境学習の推進			
19 ・ 学校にヒーローをつくろう(学校教育課(教育研究所)) … 学校ごとに、オオムラサキ、オオサンショウウオ、丹波篠山茶など、その地域に合った特色のある動物や植物を「学校のヒーロー」として学ぶことで、命の大切さ、思いやりの心、生きる力を育むとともに、ふるさとを大切にすることを進める。	各学校とも「ふるさと教育年間計画」に基づき、地域教材・地域人材を活用し、各学年の発達段階に応じた取組ができています。総合的な学習・各教科・校外学習をタイアップさせ、主体的・協働的・探究的な学習の機会となっている。	継続	各学校とも年間計画の見直し、地域と連携したふるさと教育、「わたしたちの丹波篠山市」「丹波篠山ふるさとガイドブック」の有効活用、実践事例等の収集・交流に、更に取組みを充実させていく。
20 ・ エコ・ティーチャーのおもしろ環境講座(農村環境課) … 学校等の環境教育を支援するため、環境に詳しい講師を「エコ・ティーチャー」として派遣する。また、環境講座を利用する際に必要な資材等の購入補助を行う。	学校園23件、まち協等一般3件へ講師を派遣。	継続	「協働の場」や「環境みらいパートナー事業者」等から新しいエコ・ティーチャー誕生を目指す。
21 ・ 自然環境や生きものに関する教材の配布(農村環境課) … 小学生を中心とした子どもたちが、自然環境や生きものとふれ合うきっかけとして活用できる本「丹波篠山のいきものたち～ささっ子編～」等を希望する各学校園へ配布し、また市内公共施設で配架する。市内での生きもの調査や講座などで活用できるようHP等で周知をする。	希望のあった学校園、関連施設や環境関連イベント開催時に配布。	継続	R7年度と同様に実施。
22 ・ こども樹木博士(森づくり課) … 子どもや保護者が森林に対する理解と関心を深められるよう、親子で実際に森林に入り、樹木の特徴から木の名前を覚えるイベントを年2回(春、秋)開催する。	春9名、秋5名。	継続	R7年度と同様に実施。

## 環境施策に係る令和7年度事業の実施状況及び令和8年度の方針

※1 R7事業の実績は令和8年2月16日時点

※2 R8方針は令和8年度当初予算として計上したもの

【R7年度事業の概要】	【R7年度事業の実績※1】	【R8年度方針及び特記事項※2】	
23 ・ 河合雅雄氏顕彰室「万兎の部屋」(市長公室) … 自然保護や野生生物との共生など、河合雅雄氏の教えを多くの市民が学べるよう周知啓発する。子どもたちが生きものに触れ、自然を大事にする心を養う機会を提供する。	令和6年4月に設置した「万兎の部屋」では、生物多様性や自然環境保護、野生動物との共存など、河合雅雄氏の教えを生かし丹波篠山市が取り組んでいる重要施策について紹介している。令和7年度は美しい農村を未来へつなぐツアーを実施し、学生達が「万兎の部屋」の訪問や、市が取り組むまちづくりや環境保全の活動を体験した。	継続	引き続き、市民の方に万兎の部屋を訪れて頂き、河合雅雄氏の教えや市の誇る施策を学んで頂けるよう周知啓発する。
24 ・ 河合雅雄氏に関するNHKのドラマ誘致(商工観光課) … 河合雅雄氏の兄弟をモチーフとしたNHK朝の連続テレビ小説の実現に向けた誘致活動を実施する。	11月および3月(予定)に河合氏顕彰の講演会を開催し、理解促進と機運の醸成を図るとともに、11月から署名活動を開始した。	継続	11月中を目途に署名を取りまとめ、NHKに朝ドラマ化を要望する。
<b>2-2) 市民・事業者等と連携した環境創造</b>			
25 ・ 市内事業者と協力した環境創造(農村環境課) … 環境に配慮した水路整備などに協力して取り組む土木建設事業者(環境創造事業者)の研修を行い、取り組みへの理解を深め、協力体制を強化する。	魚道整備を行った畑川・篠淵川で研修会を開催。協定事業者41者中13者、一般事業者1者が参加。	継続	R7年度と同様に実施。
26 ・ エコアップの取り組みの普及促進(農村環境課) … 比較的簡易な方法で、生きものの保全や地域の魅力向上につながる「エコアップ」の取り組みをクリーングリーン作戦等、地域で率先して実施してもらえよう事例集及びその概要版を環境委員等に配布する。また、クリーングリーン作戦、エコアップ作戦に必要な資材を配布する。	8件の活動について必要な資材等を貸出・配布した。	拡充	引き続き資材等を貸出・配布するとともに、家庭版エコアップに関するチラシを発行し、さらなる促進を図る。

## 環境施策に係る令和7年度事業の実施状況及び令和8年度の方針

※1 R7事業の実績は令和8年2月16日時点

※2 R8方針は令和8年度当初予算として計上したもの

【R7年度事業の概要】	【R7年度事業の実績※1】	【R8年度方針及び特記事項※2】	
2-3) 自然・景観の魅力発信と観光の推進			
27 ・ 景観写真コンクール(地域計画課) … 丹波篠山の素晴らしい景観を多くの人に伝え、大切な資産として残していきたい景観や魅力的な景観の写真を広く紹介することにより、景観意識の高揚を図るとともに、これからの良好な景観づくりを目指すため景観写真コンクールを開催する。令和7年度は、「世界に発信したい丹波篠山の景観」をテーマとして募集する。	「世界に発信したい丹波篠山の景観」をテーマとして募集し、市内外から59人、116点の応募があった。	継続	「百年後に伝えたい丹波篠山の景観」をテーマとして開催予定。
28 ・ 丹波篠山の家普及推進事業(地域計画課) … 丹波篠山の気候風土・文化に根差した健康的で住みよい住宅を「丹波篠山の家」とし、意匠や色彩、材料等の認定基準に適合した住宅の建築工事等の補助を行う。また、令和7年度は、これまでから実施しているモデルハウスを活用した内覧やセミナーなどのPRイベントに加え、暮らし案内所と連携した移住大交流ツアーのほか、不動産事業者と連携して丹波篠山の家に限定した分譲地販売を行う予定。	認定基準に適合した住宅の建築工事費の補助7件。モデルハウスの内覧14件。オンラインセミナーや移住大交流ツアーを年5回開催し、市内外から多くの参加があった。また篠山産業高等学校と市建築組合との産官学連携事業として出前授業や設計コンテストを実施した。	拡充	モデルハウスの内覧が建築につながる仕組みづくりとして、設計士によるプレゼンを行い、最も気に入ったプランを選択できる設計コンペを実施予定。
29 ・ サイクルツーリズムの推進(商工観光課) … 兵庫県自転車活用推進計画に基づき設定された「兵庫丹波チャレンジ200」をモデルルートとして、関係団体等と自転車活用推進のための整備を進める。令和7年度も引き続き、自転車での市内周遊促進、観光協会が運営するレンタサイクル事業を促進する。	自転車による市内周遊を促進するため、観光協会が実施するレンタサイクル事業を支援するとともに、国際博に合わせて設置したレンタサイクル拠点をイベント会場へ移設し、有効活用を図った。さらに、市内で利用可能な専用アプリを活用した24時間対応のレンタル自転車を導入し、利用者の利便性向上と周辺エリアの周遊観光の促進に取り組んだ。	継続	市内の周遊観光を促進するため、引き続きレンタサイクル事業を推進する。
30 ・ 丹波篠山市桜ビジョン(商工観光課) … 丹波篠山市の市木となっている「サクラ」を将来にわたって引き継いでいけるよう、桜ビジョンに基づく啓発などに取り組む。また、桜を維持管理されるにあたり、経費の一部を補助する制度を創設し、積極的な維持管理を促進する。	桜ビジョン推進会議によるビジョン推進の取組方針の提案に基づき、桜の整備や人材育成等に取り組んだ。	継続	引き続き桜ビジョンにより「オンリーワンのサクラの里」づくりに取り組む。

## 環境施策に係る令和7年度事業の実施状況及び令和8年度の方針

※1 R7事業の実績は令和8年2月16日時点

※2 R8方針は令和8年度当初予算として計上のもの

【R7年度事業の概要】	【R7年度事業の実績※1】	【R8年度方針及び特記事項※2】	
<p>2-4) 多様な主体による生き物の生息状況調査の推進</p> <p>31 ・ 農業者による田んぼの生きもの調査(農村環境課・農都政策課)          … 農業者が農業と生きもの関わりについて意識できるよう、生きもの調査の実施を推奨する。令和7年度は、農都のめぐみ認証普及補助金の助成制度、多面事業と連携した生きもの調査を実施する。</p>	<p>多面組織および環境創造型米づくり補助金申請者に「カエル調査」を依頼。多面：56組織88集落1,354人、環境創造型米づくり補助金申請者：358主体(うち81主体は多面として実施)969人が参加。</p>	<p>継続</p>	<p>引き続き農業者を対象にした生きもの調査を実施する。</p>
<p>2-5) 生物多様性の保全</p> <p>32 ・ 【新規】ネイチャーポジティブ実現に向けた取り組み(農村環境課)          … 生物多様性増進活動促進法の施行(令和7年4月1日)に伴い、市民や事業者の皆さんと連携した増進活動実施計画に基づく活動地である自然共生サイトの認定に向けた検討を進める。</p> <p>33 ・ 【新規】生物多様性推進員の雇用(農村環境課)          … 生物多様性の保全再生全般に係る業務を行う会計年度任用職員を雇用し、市管理地等での外来種防除をはじめ、保全箇所の調査、市民によるエコアップ活動の支援等を行う。</p>	<p>環境事務所や自然共生サイト既存認定箇所に課題等への聞き取りを実施。市内における認定箇所や申請及び補助等の支援策を検討した。</p> <p>保全再生や外来種対策に係る業務など、22日間で153時間勤務。</p>	<p>継続</p>	<p>自然共生サイトの認定に向けて、活動団体や事業者による申請を支援する。</p> <p>R7年度と同様に実施。</p>
<p>2-6) 外来生物対策の推進</p> <p>34 ・ 篠山城跡における南堀のハス保全・外来生物防除(農村環境課)          … 市民、大学、市で組織する農都ささやま外来生物対策協議会会員として、篠山城跡南堀固有品種「篠山城蓮」の保全に向け、外来種防除をはじめとしたモニタリング等に取り組む。</p> <p>35 ・ 外来生物の早期発見・地域による防除促進(農村環境課)          … 早期発見や防除実施を呼びかける啓発チラシの配布、市HPでの周知啓発により、地域や個人での自発的な活動を促進する。外来種の早期発見・防除・拡大抑制を目指し、環境委員等、地域や個人による防除時に必要な資材の支給や貸出を行う。</p>	<p>堀のモニタリングを実施。アカミミガメ46匹ほか捕獲した外来種を駆除。南堀のハスは、前年度と同様に全面を被覆した。</p> <p>クビアカツヤカミキリ成虫1匹が市内初確認。確認地周辺の調査実施。早期発見に向け、庁内および市民に向けた周知を強化。</p>	<p>継続</p>	<p>ハス保全継続のため、アカミミガメの低密度管理を維持する。</p> <p>クビアカツヤカミキリをはじめ、近隣市町で確認されているナガエツルノゲイトウの周知を強化する。</p>

## 環境施策に係る令和7年度事業の実施状況及び令和8年度の方針

※1 R7事業の実績は令和8年2月16日時点

※2 R8方針は令和8年度当初予算として計上のもの

【R7年度事業の概要】	【R7年度事業の実績※1】	【R8年度方針及び特記事項※2】	
36 ・ アライグマ・ヌートリア被害対策(森づくり課) … 特定外来生物アライグマ・ヌートリアの地域からの根絶を目指し、市が開催する講習会を受講した市民による駆除活動を展開する。	新規従事者24名、 既従事者513名	継続	R7年度と同様に実施。
<b>2-7) 生き物の生息に配慮した環境整備</b>			
37 ・ ふるさとの川づくり事業(地域整備課) … 「ささやまの川・水路づくり指針」に基づき、丹波篠山の美しい自然と生きものに配慮した工法による、ふるさとの川づくりを進める。意向調査により、事業に意欲的な地域などにおいて、河川環境調査、魚道の設置計画等を行う。	2箇所実施(初田地区 初田川多自然型護岸、見内地内 波賀野川魚道・親水施設)。	継続	3箇所実施(初田地区 初田川多自然型護岸、山田地区 山田川多自然型護岸、魚道)。ふるさとの川づくりマップ作成。
38 ・ 多面的機能支払交付金事業における水路の生態系配慮の推進(農都整備課・農村環境課) … 環境創造事業者と連携し、多面的機能支払交付金を活用して水路を改修する活動組織(地域)に対して、「農村環境の生態系保全に配慮した水路整備指針」に基づいた生態系に配慮した工法を推奨し、場合によって助言・提案を行う。環境配慮型水路や「農都のまほろば水路」など生態系に配慮した水路整備について、多面的機能支払交付金制度説明会などの機会に紹介し、理解を促進する。	宇土地内で「農都のまほろば水路(トンボトラフ:ヨシキモデル)」を整備(L=54m)。	継続	水路整備指針に基づき、環境配慮型水路「農都のまほろば水路」の整備、普及を図る。 <b>【令和8年度予定】</b> 宇土地内(トンボトラフ:ヨシキモデルL=51m)
39 ・ サギとの共生対策事業(森づくり課・農村環境課) … 人と生きもの(サギ)が共生できるまちを目指し、サギコロニー問題の解消に取り組む。人との軋轢が生じない場所での営巣に適した樹木整備等を行う。また、サギによる環境悪化の改善を図る。	上河原町、黒田地区を支援。	継続	R7年度と同様に実施。
<b>3-1) 農林業の担い手づくり</b>			
40 ・ 新規就農者の支援(農都政策課) … 担い手の育成及び確保に向け、農業を職業として希望する新規就農者に対して、就農相談時に助成制度や農業経営収支計画の作成に向けた助言を行うとともに、就農後においては栽培・経営指導のフォローアップを行う。	担当窓口において、随時就農相談に対応。関係機関(JA、県、農業委員会、農都政策課)が連携し、農業経営収支計画の作成に向けた就農相談を実施した。また、国県市の助成制度により総合的な支援を行うとともに、農業経営開始後のフォローアップを行った。	継続	就農相談では、助成制度や農業経営収支計画の作成に向けた助言を行うとともに、就農後においては栽培・経営指導のフォローアップを行う。

## 環境施策に係る令和7年度事業の実施状況及び令和8年度の方針

※1 R7事業の実績は令和8年2月16日時点

※2 R8方針は令和8年度当初予算として計上のもの

【R7年度事業の概要】	【R7年度事業の実績※1】	【R8年度方針及び特記事項※2】	
<p>41 ・ 農業の担い手の育成(農都政策課) … 集落農業の将来を担う担い手が、効率よく農地の利用を検討する地域計画の作成を推進する。地区ごとの話し合いを継続し、農地の有効利用に向けて多様な担い手が連携する体制について話し合う。</p>	<p>地域計画が作成された市内18地区において、農政協力員や自治会長、農業委員、集落営農組織、多面的機能支払い交付金団体等が集まり、農地の有効利用に向けて多様な担い手が連携する体制について話し合った。</p>	<p>継続</p>	<p>地区を越え柔軟に担い手を確保すべく、特に市東部地区を中心として、地区外の担い手とも連携した「協議の場」を創出し、地域計画のさらなる見直しと実効性の向上に取り組む。</p>
<p>42 ・ 集落営農の推進(農都政策課) … 地域計画の作成を推進し、集落営農が地域の農業の持続的な担い手となるよう、経営や組織の充実を支援することで、「集落の農業、農地は集落で守る」取り組みを進展させる。丹波篠山市農業生産組合協議会事業として、視察研修、簿記記帳研修、情報交換会などを実施し、組織経営の進展に寄与する。</p>	<p>丹波篠山市農業生産組合協議会において、市外先進地視察研修(14名、12組織参加)、簿記記帳研修会(5名、5組織参加)、市内先進地視察研修(13名、8組織参加)を実施した。</p>	<p>継続</p>	<p>丹波篠山市農業生産組合協議会事業として、視察研修、簿記記帳研修、情報交換会などを実施し、組織経営の進展に寄与する。</p>
<p>43 ・ 「草刈り隊」の設立支援(農都政策課) … 高齢化や担い手農家への農地の集約化により、負担が増加している農地の草刈りについて、土地持ち非農家らを含む地域全体で作業に取り組む「草刈り隊」の設立を補助金により支援する。組織的な草刈りの取り組みを拡大していくため、自走式草刈機やトラクターに装着する大型草刈り機の導入を助成し、地域の共同活動を後押しする。</p>	<p>草刈り隊の設立が4件あり、3件の助成を行った(残る1件は助成予定)。</p>	<p>継続</p>	<p>草刈り隊の設立及び各種草刈り機の導入支援を行う。</p>
<p>44 ・ 日本農業遺産を生かしたまちづくり(農都政策課) … 日本農業遺産に関する市民活動を推進するため、「日本農業遺産を生かしたまちづくり事業助成金制度」により、黒大豆栽培に関する技術の継承や、歴史調査、農業生物多様性、灰小屋の修復などの市民活動、研究機関による調査研究に対して10万円を上限に支援する。日本農業遺産の取り組みを通じて、黒大豆のみならず、丹波篠山の伝統的な農業・特産物への市民の理解を広げる。</p>	<p>子ども会活動等における黒大豆学習や調理実習、大学でのたい肥関連の研究など5件に支援した。</p>	<p>完了</p>	<p>-</p>

## 環境施策に係る令和7年度事業の実施状況及び令和8年度の方針

※1 R7事業の実績は令和8年2月16日時点

※2 R8方針は令和8年度当初予算として計上したもの

【R7年度事業の概要】	【R7年度事業の実績※1】	【R8年度方針及び特記事項※2】	
45 ・ 麒麟の森づくり事業(森づくり課) … 小多田特定用地をフィールドに、モデル的な森の活用を展開する。森林活動に興味のある市民に対し、伐倒実技講習などを行い、森林活動の安全性向上を図るほか、広葉樹林育成のモデル林の整備、薪ストーブオーナーらと木の駅プロジェクトのマッチング等を行い、市内各地への展開を図る。	全7回、延べ58人。	継続	年6回開催を予定。
46 ・ 【新規】丹波篠山茶振興計画(農都政策課) … 日本最古のお茶処としての産地を守り、美しい茶畑の景観を引き継ぐため、丹波篠山茶振興計画を作成しお茶農家を支援していく。	丹波茶の事業主体3者及び県、JA等関係者による協議を実施、意向調査アンケート等を行った。	継続	どのような将来を目指すのか、またそれぞれの役割について継続協議する。
47 ・ 木育の推進(森づくり課) … 森林や里山とふれあう機会がなくなった地域住民や子どもたちに、あらためて森や里山とふれあうきっかけとなるために必要な経費を予算の範囲内において助成する。	木育業者の木育普及活動を受ける団体への補助、8団体。	継続	R7年度と同様に実施。
48 ・ 里山の日イベントの開催(森づくり課) … 市が条例に定める5月5日里山の日に、市内森林体験施設等が開催するイベントを市民に紹介し、市民が里山に触れ合う機会を創造する。	市広報に県立ささやまの森公園等、木育イベント紹介。	継続	R7年度と同様に実施。
<b>3-2) 遊休農地の活用促進</b>			
49 ・ 耕作放棄地発生の未然防止(農都政策課) … 担い手農家への支援や集落営農組織の育成、農地の貸し借りや地域計画の策定に伴う集約化により、耕作放棄地の発生を未然に防止する。また、地域計画を基に農地の流動化を進め、集落営農組織の育成および担い手農家への各種支援を実施する。	地域計画推進会議において、農地貸し借りの制度説明を行うとともに、栗の植栽や、菜の花やコスモスなどを植えた景観形成等の事例を取りまとめた「耕作放棄地の活用策」を紹介することで、放棄地発生の防止を啓発した。	継続	地域計画の話し合いの場を活用し、農地の貸し借り制度を周知するとともに、耕作放棄地活用策を紹介する。

## 環境施策に係る令和7年度事業の実施状況及び令和8年度の方針

※1 R7事業の実績は令和8年2月16日時点

※2 R8方針は令和8年度当初予算として計上したもの

【R7年度事業の概要】	【R7年度事業の実績※1】	【R8年度方針及び特記事項※2】	
3-3) 未利用バイオマスの利活用の促進			
50 ・ 木の駅プロジェクトによる間伐材の買取事業(森づくり課) … 間伐等で発生した林地残材を「木の駅プロジェクト」へ出材を促し、間伐の促進と、放置材(林地残材)の活用を図る。また、林業機械のリースを支援することにより、当該機械により出材された木材の一部を、木の駅への出材を促す仕組みづくりを進める。	30トン	継続	R7年度と同様に実施。
51 ・ 竹林整備と竹チップの有効活用(農村環境課) … 竹粉碎機を市内の団体に無償で貸し出すことにより、竹林整備を促進する。竹炭を作成する無煙炭化器の運用等、地域の竹資源の有効活用を促す。また、地域おこし協力隊員と連携し、竹に関する座談会を開催する。	竹粉碎機は延べ14団体が利用し、32,350㎡の竹林が整備された。また、無煙炭化器の貸し出しを開始し、延べ3団体が利用し、64㎡の竹林が整備された。	継続	引き続き市内の竹林整備を行う団体に機器・器具の貸出を行う。
52 ・ バイオ炭の有効活用に向けた取り組み(農都政策課) … 黒大豆がらや栗の剪定枝を用いて、作物が吸収した二酸化炭素を炭にして土中に固定するバイオ炭実証試験に取り組み、地球温暖化の防止や土壌改良など新たな循環型農業の検討を進める。	集落営農組織の協力を得て、黒大豆殻及び栗の剪定枝でバイオ炭実証に取り組み、成分分析を行った。	継続	炭化させたバイオ炭を黒大豆栽培ほ場の土に入れ、炭素貯留や土壌改良効果を検証する。
53 ・ 木質バイオマスストーブの利用促進(農村環境課・管財契約課) … 木質バイオマス資源の有効活用や温室効果ガスの削減につながる、薪ストーブやペレットストーブを設置する市民や事業者に対して、補助金を交付し、支援する。市役所庁舎などにペレットストーブを設置し、モデル運用することによって、環境に優しい木質バイオマス資源の活用を促す。	薪ストーブ15件に対して補助金を交付。	継続	補助金額をCO <sub>2</sub> 削減量に見合った単価に見直して補助金交付を継続する。
3-4) 森の恵みの有効活用			
54 ・ マツタケ復活事業(森づくり課) … マツタケ山復活に向けた講習会を開催するとともに、マツ林の復活・再生に取り組む事業に対し、補助金を交付する。	1件	継続	R7年度と同様に実施。

## 環境施策に係る令和7年度事業の実施状況及び令和8年度の方針

※1 R7事業の実績は令和8年2月16日時点

※2 R8方針は令和8年度当初予算として計上のもの

【R7年度事業の概要】	【R7年度事業の実績※1】	【R8年度方針及び特記事項※2】	
<b>3-5) 鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進</b>			
55 ・ 野生鳥獣の個体数管理(森づくり課) … シカ、イノシシ及びサルなどの個体数が増えすぎることにより、農作物の被害が甚大にならないよう、鳥獣被害対策実施隊員等により、獣種毎の個体数管理を行う。	シカ450頭、イノシシ325頭、サル20頭	継続	R7年度と同様に実施。
56 ・ 「獣がい対策」の推進(森づくり課) … 獣害軽減のための確実な技術や方法論を普及して、集落の自立的な獣害対策を支援しながら、地域内外の多様な人材(関係人口)が互いに支え合い、地域を元気にする「獣がい対策」を推進することで、獣害対策をきっかけに地域住民の生きがい・やりがい・笑顔を生み、活気ある集落を増やして、人が集まる魅力ある丹波篠山にすることを目指す。	獣がい対策実践塾の開催 獣がいフォーラムの開催	継続	R7年度と同様に実施。
57 ・ 獣害金網柵、サル用電気柵による鳥獣の農地への侵入防止(森づくり課) … 金網柵及び電気柵を設置し、その効果を維持発揮することにより、農作物への被害を防ぐ。とりわけサル用電気柵については、設置推進普及集落の調査及び支援を実施する。獣害柵の新設については、かつて取り組んだ国庫等を活用した設置を図る。	23か所、延長21.2km	継続	獣害防護柵設置要望箇所増により、設置箇所、延長増。
<b>3-6) 環境に配慮した農業の推進</b>			
58 ・ 有機農業の推進(農都政策課) … 国では、地域ぐるみで有機農業に取り組むオーガニックビレッジを、2030年(R12年)までに200地区創出しようとするなか、丹波篠山市ではR5年に宣言。栽培技術の確立、学校給食への活用、消費者等に向けたPRなどで、環境や生きものに配慮した農業を推進する。令和7年度は、有機栽培実証試験の取り組み事例集の更新や、市内飲食店事業者と連携して市内事業者の有機農産物活用を推進する。	水稻、黒大豆の有機栽培事例集の更新、水稻有機栽培に取り組む農業者に対する除草機械の導入支援を行った。市内飲食店と連携したマルシェや有機農業座談会を開き、有機農産物の普及啓発に取り組んだ。	継続	水稻・黒大豆の収量や品質向上に向けた抑草管理マニュアルを作成する。

## 環境施策に係る令和7年度事業の実施状況及び令和8年度の方針

※1 R7事業の実績は令和8年2月16日時点

※2 R8方針は令和8年度当初予算として計上したもの

【R7年度事業の概要】	【R7年度事業の実績※1】	【R8年度方針及び特記事項※2】	
<p>59 ・ 有機JAS水準に合致する栽培技術の普及・講習会等の実施にかかる助成（農都政策課）</p> <p>… 有機農業、有機農産物の普及を目指し、事例集を活用した土づくり研修会や食育授業を実施する。また、篠山自然派が行う、有機農業や自然農法などを実践するための技術研修や、普及啓発活動に対して必要な経費の一部を支援する。さらに、学校給食に有機野菜や有機資材を使用した野菜を提供し、学校給食を通じて子供たちの自然環境や農業、食べ物への関心を高める。</p>	<p>篠山自然派や丹波篠山ワクワク農都づくり協議会による有機農業の普及活動を支援した。篠山自然派が、有機給食に野菜を提供し、市内の小学校2校で有機農業に関する食育授業を実施。</p>	<p>継続</p>	<p>研修会や有機給食、食育授業の実施を継続し、有機農業、有機農産物の普及を図る。</p>
<p>60 ・ 殺虫剤低減のための誘引剤(フェロモントラップ剤)の購入助成(農都政策課)</p> <p>… 害虫の発生状況を的確に把握し、適期の防除を行うことにより、農薬の使用回数を減らすことができるよう誘引剤(フェロモントラップ)の購入にかかる費用の一部を支援する。</p>	<p>5件 57,200円を交付(R7.1月時点)。特産である黒大豆、山の芋の栽培において、適期防除を支援した。</p>	<p>継続</p>	<p>適期防除を推進し、引き続き支援した。</p>
<p>61 ・ 自然環境や生きものに配慮した「農都のめぐみ」事業(農都政策課)</p> <p>… 自然環境や生きものに配慮した栽培方法で生産された農産物を市が認証する「農都のめぐみ農産物認証」を受ける団体や農産物の栽培面積を増やす。認証取得団体には上限50,000円を交付し、認証取得を推進する。また、学校給食への使用や生産農家による児童への食育授業などを通して、市民の認知を高め、農業や水環境などを大切にすることを育む。認証を受けた農都のめぐみ米との区別をするため、令和7年度から、2,000円/10<sup>kg</sup>を交付する補助金の名称は「環境創造型米づくり補助金」に改め、引き続き環境や生きものに配慮した米づくりを支援する。丹波篠山国際博開催を記念し、環境に配慮したお米づくりを競う「(仮称)丹波篠山農都のめぐみお米品評会」を開催する。</p>	<p>環境創造型米づくり補助金 352件、約539ha分を交付し、環境や生きものに配慮した米づくりを普及。農都のめぐみ認証米生産農家と連携し、市内5校で食育授業を実施した。令和7年産からJA丹波ささやまで認証米の集荷・販売が開始された。丹波篠山国際博を記念し、農産物品評会に「環境や生きものに配慮した米づくりの部」を新設。上位3団体を表彰し、環境や生きものにやさしい農業を普及した。</p>	<p>継続</p>	<p>認証米の集荷や販売を推進するため、認証団体を通じて生産者に対し、300円/30kg玄米袋を支援する。認証米生産団体になるために、ひょうご安心ブランドを取得する団体に対し、上限50,000円を支援する。</p>
<p>62 ・ 環境保全型直接支払交付金の支給(国庫補助)(農都政策課)</p> <p>… 化学肥料、農薬の5割減を実践する農業者が行う堆肥施用による土づくりや有機農業の取り組みに対し、国の補助制度を活用し交付金を支給する。</p>	<p>10団体の申請を受付。約346haで堆肥の施用、有機農業などの地球温暖化や生物多様性の保全に効果の高い取り組みが行われた。</p>	<p>継続</p>	<p>国の助成制度を活用し引き続き支援する。</p>

## 環境施策に係る令和7年度事業の実施状況及び令和8年度の方針

※1 R7事業の実績は令和8年2月16日時点

※2 R8方針は令和8年度当初予算として計上したもの

【R7年度事業の概要】	【R7年度事業の実績※1】	【R8年度方針及び特記事項※2】	
<b>3-7) 里地・里山や人工林等の適切な管理</b>			
63 ・ 森づくり支援員の雇用(森づくり課) … 丹波篠山らしい山づくりを進めるため、森づくりの専門知識と経験を有した人材を雇用し、市が進める森林施策の効果検証を行う。令和7年度は、森林戦略担当官を新たに配置し、森づくりに関わる人づくりを進める。	森林戦略担当官1名を雇用 森づくり政策官1名を雇用	縮小	森づくり政策官を廃止し、助言役を森林戦略担当官に集約。
64 ・ 間伐の実施と間伐材の有効利用(搬出間伐の促進)(森づくり課) … ふるさとの元気な森づくり事業等により間伐事業を実施した認定事業者に対して、木材市場に間伐材を出荷する際に必要な経費を助成することで、丹波篠山産材の流通を促進するとともに森林所有者への還元を図る。また、作業の効率化と持続的な木材生産に寄与することを目的とし、林業経営者に対し林業機械のレンタル費を支援し、自伐型林業の支援を図る。	6.61ヘクタール、4か所	拡充	国の交付金を活用し、拡充
65 ・ 広葉樹林化の推進(森づくり課) … 森林所有者等が行う人工林(スギ・ヒノキ)の広葉樹林化を、作業の段階に応じて支援する。また、里山彩園事業として、手入れの行き届いていない森林の整備を行う団体に対し、事務費、整備費、技術指導費などの経費を支援する。	4.55ヘクタール、18か所	継続	R7年度と同様に実施。
66 ・ 松くい虫等森林病害等防除(森づくり課) … 松くい虫被害により枯れた松を伐倒し、害虫の駆除と被害の拡大を防止する。	まとまって松林の枯損がなくなっていることから防除事業は休止中。	継続	R7年度と同様に実施。
<b>4-1) 循環型社会の担い手づくり</b>			
67 ・ 生ごみ処理機の購入助成(農村環境課) … 焼却ごみの約5分の1を占める生ごみの減量化を促進するため、生ごみ処理機購入費の一部を助成する。	37基助成。概算で生ごみ約3.4トンの削減につながった。	継続	5年間の時限的制度であり、令和8年度が最終年度となる。
<b>4-2) きれいで暮らしやすいまちづくりの推進</b>			
68 ・ 河川における水質調査(農村環境課) … 市内河川の水質の状況を監視するため、年4回(3・6・9・12月)、7つの河川(篠山川、四斗谷川、東条川、武庫川、羽東川、宮田川、友瀨川)で水質検査を実施する。	事業概要のとおり実施。いずれの検査においてもおおむね環境基準等に適合し、良好な水質であることを確認した。	継続	R7年度と同様に実施。

## 環境施策に係る令和7年度事業の実施状況及び令和8年度の方針

※1 R7事業の実績は令和8年2月16日時点

※2 R8方針は令和8年度当初予算として計上したもの

【R7年度事業の概要】	【R7年度事業の実績※1】	【R8年度方針及び特記事項※2】	
69 ・ 浄水場におけるPFAS検査(上下水道課) … 人体への健康リスク等への懸念等から注目されるPFAS(1万種類以上ある有機フッ素化合物の総称)のうち、国際的な規制対象となっているPFOSとPFOAについて、全浄水場系統の浄水(市内9箇所)と全浄水場の原水(9箇所)で水質検査を行う。	目標管理設定項目として市内9箇所の原水、浄水について1回/年の水質検査を実施。	継続	法改正に伴い水質基準項目として市内9か所の原水、浄水について4回/年の水質検査を実施。
70 ・ 環境パトロールの実施、路上喫煙禁止区域での環境推進委員による啓発指導(農村環境課) … 市環境推進協議会の事業として、市内の環境美化パトロール、路上喫煙防止パトロールなど実施し、環境美化を啓発する。	事業概要のとおり実施。	その他	路上喫煙防止パトロールを、路上喫煙禁止区域の周知啓発活動に変更予定。
71 ・ クリーングリーン作戦の推進(農村環境課) … 環境美化や自然環境保全に関する市民行動の日として、毎年7月及び11月の第1日曜日を「クリーングリーン作戦」の日と定め、取り組みを推進する。夏の河川草刈りについては、ホタルの繁殖に配慮した形での実施を依頼する。自然に優しいひと工夫「丹波篠山エコアップ12」の実施を呼びかけ、ごみ拾い、草刈り以外の環境保全活動を促進する。	事業概要のとおり実施。	継続	R7年度と同様に実施。
72 ・ 地域猫活動の推進(農村環境課) … 飼い主が判明しない猫の増加を抑制し、良好な生活環境を保全するため、自治会等が野良猫及び地域猫の不妊手術又は去勢手術を行う際、その費用の一部を補助する。	補助に必要な講習会を2回開催し、20名が受講。野良猫のオス20匹、メス27匹の手術に対し295,400円の交付決定を行った。	拡充	講習会を年3回開催するとともに、保護猫譲渡会や地域猫活動相談会の開催を支援する。
<b>4-3) 質の高いリサイクル(再生利用)の推進</b>			
73 ・ 集団回収の奨励、資源ごみの拠点回収、雑がみ回収の推進(農村環境課) … 資源ごみ集団回収の促進(補助金)や行政による月1回の拠点回収、市役所及び各支所に常設の雑がみ回収BOX設置を引き続き行う。	事業概要のとおり実施。資源ごみ集団回収量339トン、拠点回収46トン、雑紙回収ボックス12.1トン。	継続	R7年度と同様に実施。

## 環境施策に係る令和7年度事業の実施状況及び令和8年度の方針

※1 R7事業の実績は令和8年2月16日時点

※2 R8方針は令和8年度当初予算として計上したもの

【R7年度事業の概要】	【R7年度事業の実績※1】	【R8年度方針及び特記事項※2】	
<p>74 ・ 再生利用の促進(清掃センター)</p> <p>… ごみの減量化、再生利用促進のため、清掃センター内に開設しているリサイクルプラザにおいて、ごみとして出されたもののうち、軽微な確認で再利用可能と思われるものを再生品として市民に引き渡し、再利用してもらうことでごみの減量化と物を大切にする取組を進める。安全性の観点から、家電製品の引き渡しについては廃止を検討する。家具や食器など軽微な確認で再生化に繋げることができる物品で再資源化を促進する。</p>	<p>清掃センター開所時間中の再生品の引き渡しを実施、毎週月曜日に「おすすめ品抽選会」を開催した。 1月末現在引渡し実績1,013件 5.5トン</p>	<p>継続</p>	<p>安全性の観点から、家電製品の引渡しを廃止したため重量は減少したが、引き続き家具や食器など軽微な確認で再生化に繋げることができる物品で再資源化を促進する。</p>
<p>75 ・ プラスチック資源の一括回収(清掃センター・農村環境課)</p> <p>… プラスチック使用製品廃棄物の削減とリサイクルの促進を目的とした「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行を受け、現在分別収集している容器包装プラスチックごみに加え、令和7年1月から製品プラスチックごみを併せて収集する「プラスチックごみ一括回収」を実施している。分別方法の定着と資源化の促進に向けて市民へ啓発をはかる。</p>	<p>令和7年度は年度当初から一括回収を実施しており、収集量は前年度と比較して約15%増加している。また、新設したプラスチック処理施設も令和7年7月から稼働し、約40%であったリサイクル率が施設稼働後は約70%まで向上している。</p>	<p>継続</p>	<p>一括回収の定着により、LEDライトや汚れたプランターなど異物の傾向が変わってきたため、引き続き啓発に努め、資源化量の向上を図る。</p>
4-4) ごみの減量化			
<p>76 ・ ごみ袋への外国語注意書きの記載、外国語版ごみ分別カレンダーの配布(農村環境課)</p> <p>… 新しく転入された外国人の方に正しいごみ分別方法の周知するため、すべてのごみ袋の注意書き等を5か国語で記載する。</p>	<p>事業概要のとおり実施。ごみ分別カレンダーについては、日本語版の改訂に合わせて、外国語版も改訂。</p>	<p>継続</p>	<p>R7年度と同様に実施。</p>
<p>77 ・ マイバッグ運動・30・10運動の推進(農村環境課)</p> <p>… 令和2年7月のレジ袋有料化により、定着しつつあるマイバッグについて、引き続き啓発を続ける。「3010運動」については、新型コロナウイルスによる飲食店の営業状況も考慮しつつ、周知啓発に努める。</p>	<p>事業概要のとおり実施。</p>	<p>継続</p>	<p>R7年度と同様に実施。</p>

## 環境施策に係る令和7年度事業の実施状況及び令和8年度の方針

※1 R7事業の実績は令和8年2月16日時点

※2 R8方針は令和8年度当初予算として計上したもの

【R7年度事業の概要】	【R7年度事業の実績※1】	【R8年度方針及び特記事項※2】	
78 ・ ごみ減量化に関する学習推進(農村環境課・清掃センター) … ごみ減量化啓発DVDを活用した住民学習会や出前講座に清掃センター・農村環境課の職員が「ゴミ博士」として出向き、ごみ分別の詳しい説明をする中で、家庭、事業所から出るごみの減量化を推進する。令和7年1月から実施しているプラスチック資源の一括回収にともない、引き続き分別基準見直しの啓発を行う。	市内高齢者大学 一般教養講座での「ごみ分別学習会」にごみ博士を派遣(1回)。自治会住民学習等に1月末現在、9件講師を派遣した。	継続	プラスチックが一括回収になり、異物の傾向が変わってきているため、実情に応じた啓発が必要である。引き続き講師派遣を継続する。
79 ・ 市役所から発生するごみを減らす「ゴミゼロeco市役所」(農村環境課) … 市役所の全職員が協力してごみの分別、資源化に取り組む。	文書廃棄時にリサイクルできる紙類を約3トン回収し、燃えるごみを削減した。	継続	R7年度と同様に実施。
80 ・ 給水器の設置によるマイボトル利用の促進(農村環境課) … 市関連施設に給水器を設置し、マイボトルの利用促進によるペットボトルの削減に取り組む。	10施設で22,638本の利用があり、ペットボトル換算で45,276本分、約10,232kgのCO <sub>2</sub> 削減につながった。	継続	R7年度と同様に実施。
81 ・ 最終処分場(埋立地)の延命化と埋立ごみの減量(清掃センター) … 清掃センターの最終処分場(埋立地)の容量が逼迫しているため、市民に向けた減量化(最終処分場の現状、汚損の著しいカン・ビンの汚れをとっていただくなど)の啓発を実施する。また、産業廃棄物としての埋立ごみの受け入れは、一定の激減緩和対応と周知期間を経て、7月から受け入れを停止する。家庭から発生する埋立ごみの安定した受け入れのため、埋立ごみの処理委託や市外への搬出処理の方法について調査・研究を行う。	令和7年7月から産業廃棄物に該当する事業所からの埋立ごみの受け入れを停止した。また、建物火災から発生するがれき類の受け入れ基準も変更したため(令和7年度中で搬入対象となる火災無し)、埋立ごみの搬入量は大きく減少している。埋立ごみ搬入量 令和8年1月末現在142トン 埋立ごみの処理委託や市外への搬出方法については事業者等への調査を行った。	継続	埋立ごみの処理委託や市外への搬出方法についての調査・研究を継続して進める。コスト等も考慮して排出方法、時期を決定する。

## 環境施策に係る令和7年度事業の実施状況及び令和8年度の方針

※1 R7事業の実績は令和8年2月16日時点

※2 R8方針は令和8年度当初予算として計上したもの

【R7年度事業の概要】	【R7年度事業の実績※1】	【R8年度方針及び特記事項※2】	
<p>5-1) 低炭素社会実現に向けた人財づくり</p> <p>82 ・ 家庭部門からのCO<sub>2</sub>削減(農村環境課) … 家庭で取り組めるCO<sub>2</sub>削減策を「丹波篠山気候変動12アクション」としてパンフレット、市広報等で周知し、一人ひとりの積極的な取り組みを促進する。</p>	<p>環境月間(6月)に市内小学校が作成した啓発用ポスターを市役所に掲示。</p>	<p>継続</p>	<p>家庭部門のCO<sub>2</sub>削減に向けて引き続き取り組みを促進する。</p>
<p>5-2) CO<sub>2</sub>排出量の少ないライフスタイルへの転換</p> <p>83 ・ 市域における温室効果ガス排出量の削減(農村環境課) … 「丹波篠山市気候非常事態宣言」で掲げる2050年ゼロカーボンの実現に向け、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に基づき、2030年度の二酸化炭素排出量の削減・再生可能エネルギーの導入目標に向けた取り組みを環境みらいパートナー事業者、学校園、地球温暖化防止活動推進連絡会と協力して進める。</p>	<p>事業部門の削減に向けて、環境みらいパートナー事業者数社への聞き取りを実施。家庭部門の削減に向けて、市補助金交付対象設備のCO<sub>2</sub>削減量を算定。</p>	<p>継続</p>	<p>環境みらいパートナー事業者をはじめとした各種関係者と協力して取り組みを進める。</p>
<p>84 ・ 市の事務事業による温室効果ガス排出量の削減(農村環境課) … 地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に基づき、2030年度の市関連施設からの温室効果ガス排出量を2013年度比から43%以上削減する目標達成に向け、庁内ゼロカーボン推進委員会のもと、計画的に取り組んでいく。</p>	<p>2024年度(令和6年度)の温室効果ガス排出量は、18,985トンCO<sub>2</sub>で、2013年度(基準年度)から9.4%減少し、前年度からは0.5%減少した。</p>	<p>継続</p>	<p>R7年度と同様に実施。</p>
<p>85 ・ 公共交通の利用促進(創造都市課) … 自家用車から公共交通機関へのモーダルシフトにより、移動に伴い発生する温室効果ガスを削減する。令和3年4月より路線バス・コミュニティバスに上限運賃制を本格導入するとともに、制度の促進のため、ダイヤの見直し及び既存交通の見直しを行う。 令和6年11月より利用しやすい公共交通の実現に向けて、コミュニティバスの一部路線を見直しデマンドバスを導入した。令和7年度にはさらにデマンドバスの運行エリアを拡大し、自家用車から公共交通への転換を促し、CO<sub>2</sub>の削減につなげる。</p>	<p>利用しやすい公共交通の実現に向けて、コミュニティバスを廃止し、市西部エリアにデマンドバスを導入した。デマンドバスで乗継拠点となる駅やバス停まで送迎し、公共交通の利用促進につながっている。</p>	<p>継続</p>	<p>自家用車から公共交通機関の利用に転換できるよう上限運賃制等の公共交通施策も継続して実施し、既存公共交通の利用促進を行う。</p>

## 環境施策に係る令和7年度事業の実施状況及び令和8年度の方針

※1 R7事業の実績は令和8年2月16日時点

※2 R8方針は令和8年度当初予算として計上したもの

【R7年度事業の概要】	【R7年度事業の実績※1】	【R8年度方針及び特記事項※2】	
86 ・ 観光地をつなぐモビリティの整備(商工観光課) … 城下町と河原町を巡るルートでグリーンスローモビリティ(小型電気自動車で時速20km未満で公道を走るもの)を週末に運行し、ゆっくりと景色や景観を楽しむ新しい観光を推進するとともに、運輸部門での地域脱炭素に取り組む。令和7年度は、ルートや車内案内の内容などを適宜見直し、引き続き運行する。	利用が少ない夏季および冬季は運行を休止した一方で、それ以外の期間は土日祝日に運行し、1月末時点で1,555人の利用があった。	その他	一定の効果は認められるものの、利用実績が伸び悩み費用対効果の面で継続が困難であることから、令和8年11月の運行をもって終了する。
<b>5-3) 再生可能エネルギーの導入拡大</b>			
87 ・ スマートエネルギー機器の導入促進(農村環境課) … 温暖化の「緩和」に加え「適応」面での効果を期待し、太陽光発電システム、蓄電池、次世代自動車等(電気自動車・燃料電池車等)を導入する市民、自治会、事業者に対し、設備導入補助金を交付し、支援する。	太陽光発電システム21件、蓄電池19件、電気自動車9台(うち軽自動車区分5台)が補助金を受けて導入された。	拡充	自家消費型太陽光発電に関する補助制度を創設。
88 ・ 電気自動車急速充電器(3基)の運用、管理(農村環境課) … 電気自動車用急速充電器3基(市役所前、こんだ薬師温泉ぬくもりの郷、ハートピアセンター)の運用により、電気自動車の利便性向上と普及拡大を図る。現在の充電設備が令和7年度末に使用不可となるため、現在の利用実態に応じた事業の見直しを行う。	3箇所で981回利用された。2箇所の電気を再エネ100%化し、約7,516kWh分のCO <sub>2</sub> 削減(約3,119kgのCO <sub>2</sub> )につながった。	その他	市設置の3基は廃止。民間事業者の新規設置に対する補助金を創設。
<b>5-4) 未利用木質系バイオマスの利活用の促進</b>			
89 ・ ぬくもりの郷木質ペレットボイラの運用(農村環境課) … 平成27年度に木質バイオマス資源の有効利用、地域内循環のモデルとしてこんだ薬師温泉ぬくもりの郷に設置したペレットボイラを適切に運用することにより、CO <sub>2</sub> の削減と山林の整備を促進する。	木質ペレット約67トン(重油の代替として)を使用し、約83トンのCO <sub>2</sub> 削減につながった(12月末時点)。	継続	R7年度と同様に実施。
<b>5-5) CO<sub>2</sub>吸収源としての森林の機能強化</b>			
90 ・ 人工林の間伐(森づくり課) … 国や県の補助金、森林環境譲与税、県民みどり税を活用し、年間325haを目標として人工林の間伐を実施している。令和6年度は、補助金等の財源を最大限活用し、150haの間伐を実施する。令和7年度は、森林組合等の間伐に加え、自伐型林業者の間伐の上積みを図る。	100ヘクタール	継続	R7年度と同様に実施。